



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 サンコール株式会社

上場取引所 東

コード番号 5985 URL <https://www.suncall.co.jp>

代表者 （役職名） 代表取締役 社長執行役員 （氏名） 奈良 正

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員 企画・管理部門長 （氏名） 國澤 裕 TEL 075-881-5280

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	13,290	△13.8	1,880	△23.4	1,922	△17.8	1,492	△23.4
2026年3月期第1四半期	15,410	7.7	2,454	—	2,339	—	1,949	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,570百万円（△2.2％） 2026年3月期第1四半期 1,604百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	49.27	—
2026年3月期第1四半期	64.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	56,050	35,332	63.0
2026年3月期	57,394	34,214	59.6

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 35,332百万円 2026年3月期 34,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		20.00	—	15.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2026年8月7日）公表いたしました「2027年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	27,500	0.8	4,200	3.3	4,200	0.5	3,200	△5.7	105.64
通期	56,000	7.2	8,500	19.3	8,500	13.6	6,300	1.5	207.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年8月7日）公表いたしました「2027年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社、除外 一社 (社名) SUNCALL (Tianjin) Co., Ltd.

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	34,057,923株	2026年3月期	34,057,923株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,766,645株	2026年3月期	3,766,637株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	30,291,284株	2026年3月期1Q	30,270,863株

(注) 自己株式数には業績連動型株式報酬制度に係る信託口に残存する当社株式が含まれております。

(自己株式数 2027年3月期1Q 145,800株 2026年3月期 145,800株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
3. 海外売上高	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴う原油・エネルギー価格の上昇により、インフレ圧力が再び高まる一方、生成A Iの普及拡大を背景としたテクノロジー関連投資の拡大が景気を下支えし、総じて底堅く推移しました。

わが国経済においては、原油・石油製品価格の上昇や円安の進行により企業の調達・生産コストが上昇したものの、生成A I関連需要を背景とした設備投資の増加に加え、底堅い個人消費やインバウンド需要が全体業況を押し上げました。

このような経営環境のもと、当社グループの主な事業領域である自動車関連分野では、前年における北米関税引き上げ前の駆け込み需要の反動や、中国における新エネルギー車向け優遇措置の縮小など、地域毎に異なる情勢の影響を受け、全体では前年同期比でやや低調に推移しました。一方、電子情報通信関連分野では、生成A Iの開発・普及に伴うデータセンター向け投資が拡大し、需要を押し上げました。

このような外部環境のもと、当社グループの売上高は、好調な製品の販売拡大が寄与した一方、前年にHDD用サスペンション事業から撤退した影響により、132億90百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

利益面では、通信関連事業におけるデータセンター向け需要増に伴い増益した一方で、HDD用サスペンション事業撤退に伴う利益剥落により、営業利益は18億80百万円（同23.4%減）、受取配当金や物品売却益などの計上により、経常利益は19億22百万円（同17.8%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億92百万円（同23.4%減）となりました。

《セグメントの業績》

[日本]

HDD用サスペンションの事業撤退に伴う売上高・利益剥落により、セグメント売上高は65億98百万円（前年同四半期比30.8%減）、セグメント利益は5億48百万円（同58.2%減）となりました。

[北米]

メキシコ子会社における材料関連製品の受注増加があり、セグメント売上高は27億53百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。セグメント利益は各子会社における収益性の悪化により43百万円（同85.5%減）となりました。

[アジア]

通信関連での販売増加により、セグメント売上高は49億51百万円（前年同四半期比17.6%増）、セグメント利益は14億85百万円（同33.6%増）となりました。

[欧州]

セグメント売上高は14百万円（前年同四半期比36.9%減）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称		前第 1 四半期連結累計期間		当第 1 四半期連結累計期間		増 減	
		自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日		自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月30日			
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
	材料関連製品	1, 867	12. 1	2, 387	18. 0	519	27. 8
	自動車関連製品	6, 992	45. 4	7, 298	54. 9	305	4. 4
自動車分野		8, 860	57. 5	9, 685	72. 9	825	9. 3
	HDD用サスペンション	3, 597	23. 4	—	—	△3, 597	△100. 0
	プリンター関連	969	6. 3	817	6. 1	△151	△15. 6
	通信関連	1, 840	11. 9	2, 626	19. 8	786	42. 7
電子情報通信分野		6, 407	41. 6	3, 444	25. 9	△2, 963	△46. 2
その他製品		142	0. 9	160	1. 2	17	12. 6
合 計		15, 410	100. 0	13, 290	100. 0	△2, 120	△13. 8

（自動車分野）

[材料関連製品]

材料関連製品は、主要顧客の受注増加により、前年同四半期から増加しました。その結果、売上高は23億87百万円（前年同四半期比27.8%増）となりました。

[自動車関連製品]

自動車関連製品は、エンジン・トランスミッション関連部品が減少した一方で、バスパーやLED関連製品の増加などにより、売上高は72億98百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

（電子情報通信分野）

[HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは、事業撤退により2025年7月をもって生産・出荷を終了しました。（前年同四半期の売上高は35億97百万円）

[プリンター関連]

プリンター関連は、需要が減少傾向にあり、売上高は8億17百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

[通信関連]

通信関連は、光通信用コネクタ・アダプタのデータセンター向け需要の伸長により、アジアでの売上が増加し、売上高は26億26百万円（前年同四半期比42.7%増）となりました。

（その他製品）

その他製品の売上高は1億60百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

〔資産〕

総資産は560億50百万円（前連結会計年度末比13億43百万円減）となりました。これは主に売掛金等の売上債権が6億27百万円、棚卸資産が4億43百万円増加した一方、現金及び預金が26億77百万円減少したことによります。

〔負債〕

負債は207億18百万円（前連結会計年度末比24億61百万円減）となりました。これは主に、借入金が11億24百万円、未払法人税等が7億23百万円、退職給付に係る負債が6億70百万円減少したことによります。

〔純資産〕

純資産は353億32百万円（前連結会計年度末比11億17百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が4億56百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が14億92百万円、為替変動等により為替換算調整勘定が1億30百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、通期で売上高560億円（前連結会計年度比7.2%増）、営業利益85億円（同19.3%増）、経常利益85億円（同13.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は63億円（同1.5%増）を見込んでおります。

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年8月7日）公表いたしました「2027年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,088	9,410
受取手形、売掛金及び契約資産	7,935	8,412
電子記録債権	1,149	1,298
商品及び製品	2,595	2,622
仕掛品	2,845	2,983
原材料及び貯蔵品	3,253	3,532
その他	596	582
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,462	28,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,507	5,454
機械装置及び運搬具（純額）	4,750	4,744
その他（純額）	4,647	4,897
有形固定資産合計	14,905	15,096
無形固定資産	192	263
投資その他の資産		
投資有価証券	7,360	7,358
その他	4,473	4,489
投資その他の資産合計	11,834	11,848
固定資産合計	26,932	27,209
資産合計	57,394	56,050
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,944	4,063
電子記録債務	279	193
短期借入金	4,944	3,446
1年内返済予定の長期借入金	651	737
未払法人税等	1,263	539
役員賞与引当金	—	8
賞与引当金	553	343
その他	3,145	2,884
流動負債合計	14,781	12,217
固定負債		
長期借入金	4,502	4,790
退職給付に係る負債	981	310
株式給付引当金	60	100
その他	2,853	3,300
固定負債合計	8,398	8,501
負債合計	23,179	20,718

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,838	2,838
利益剰余金	19,758	20,798
自己株式	△1,562	△1,562
株主資本合計	25,842	26,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,741	2,726
繰延ヘッジ損益	74	74
為替換算調整勘定	3,896	4,026
退職給付に係る調整累計額	1,659	1,621
その他の包括利益累計額合計	8,371	8,449
純資産合計	34,214	35,332
負債純資産合計	57,394	56,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,410	13,290
売上原価	11,592	9,967
売上総利益	3,818	3,323
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	153	167
報酬及び給料手当	376	417
役員賞与引当金繰入額	6	8
賞与引当金繰入額	43	7
退職給付費用	10	5
その他	774	835
販売費及び一般管理費合計	1,363	1,442
営業利益	2,454	1,880
営業外収益		
受取配当金	45	80
物品売却益	37	32
持分法による投資利益	10	7
その他	40	29
営業外収益合計	133	150
営業外費用		
支払利息	90	82
為替差損	154	25
その他	3	0
営業外費用合計	248	108
経常利益	2,339	1,922
特別利益		
子会社整理益	—	41
退職給付制度改定益	—	25
その他	3	1
特別利益合計	3	67
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	0	8
子会社整理損	22	—
特別損失合計	23	8
税金等調整前四半期純利益	2,319	1,981
法人税、住民税及び事業税	355	459
法人税等調整額	14	29
法人税等合計	370	488
四半期純利益	1,949	1,492
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,949	1,492

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,949	1,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	△14
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△478	127
退職給付に係る調整額	△59	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	3	3
その他の包括利益合計	△344	77
四半期包括利益	1,604	1,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,604	1,570
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、SUNCALL (Tianjin) Co., Ltd. の清算が終了したことにより、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	587百万円	593百万円

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	9,202	2,473	3,711	22	15,410	—	15,410
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,202	2,473	3,711	22	15,410	—	15,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	338	1	499	—	839	△839	—
計	9,541	2,474	4,210	22	16,249	△839	15,410
セグメント利益又は損失 (△)	1,313	302	1,111	△8	2,718	△264	2,454

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△264百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△279百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	6,138	2,752	4,385	14	13,290	—	13,290
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,138	2,752	4,385	14	13,290	—	13,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	460	0	566	—	1,027	△1,027	—
計	6,598	2,753	4,951	14	14,318	△1,027	13,290
セグメント利益又は損失 (△)	548	43	1,485	△5	2,071	△191	1,880

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△191百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

	タイ	中国	フィリピン	米国	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,277	2,126	2,370	1,685	1,619	10,080
II 連結売上高（百万円）						15,410
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.8	13.8	15.4	10.9	10.5	65.4

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

	タイ	中国	フィリピン	米国	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,018	2,632	79	1,537	2,085	7,353
II 連結売上高（百万円）						13,290
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.7	19.7	0.6	11.6	15.7	55.3

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) タイ……………タイ

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) 米国……………米国

(5) その他の地域……韓国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、ブラジル、メキシコ、スイス、ポーランド、ドイツ、シンガポール

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。